

# 令和8年度 グランドデザイン

道学共創の精神

ひとが第一、ひとが大事 新発田の教育

新発田市立川東中学校

教育目標

## 正しく 強く 心豊かに

育てたい生徒像

- 1 主体的・意欲的に学ぶ生徒（かかわり合って学び合い、自ら学習に取り組む）
- 2 勇気をもって挑戦する生徒（自他のよさを認め合い、思考力・判断力・表現力を発揮する）
- 3 心身ともに健康で、心豊かな生徒（日常の活動を通して、学びに向かう力・人間性を育む）

【心を豊かにする活動4項目】～みんなの力で輝け！心豊かな川東中学校～

- 元気はつらつ挨拶・返事
- 学舎（まなびや）に感謝する清掃
- 食の恵みに感謝する給食
- 川中大好き校歌斉唱

特色ある新発田の教育

人権感覚を高める「人権教育、同和教育」

ふるさとへの愛着と誇りを育む  
「しばたの心継承プロジェクト」

生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」

学校評価「知」

学校評価「徳」

学校評価「体」

- 知識・技能の確かな習得と活用
  - ・基本テストに合格する生徒の割合 (80%)
  - ・週5日以上毎日家庭学習に取り組んでいる生徒の割合 (80%)
- 思考力・判断力・表現力等の向上
  - ・「他の生徒と交流することで考えが深まり、分からなかったことがわかるようになった。」と感じる生徒の割合 (80%)

- 豊かな心の育成
  - ・生徒アンケートで「心を豊かにする活動4項目」の肯定的な回答 (80%)
- 自己の生き方を探求し、進路を主体的に決定する力の育成
  - ・自分の将来の目標や進路について考え、その実現に向けて取り組んでいる生徒の割合 (75%)

- 健康体力の向上
  - ・体力テストで県平均以上となる種目(48種目)の割合 (65%)
- 望ましい生活習慣の確立
  - ・アウトメディア（自分で決めためあて）を意識して生活する生徒の割合 (70%)
- 食育の推進

- ・「学び合う授業」に向けた授業改善（双方向的な学びの深化）
- ・わかる授業を目指す川中UDL、「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・基本テストによる基礎学力の定着と家庭学習の習慣化
- ・補充学習・質問教室の工夫
- ・学習内容の発信(発表会・たより)
- ・特別支援教育の視点に立った指導支援の充実
- ・情報活用能力を育成するためのデジタル活用基盤の活用

- ・生徒の手による「心を豊かにする活動4項目」の実施（「いじめ見逃しゼロスクール運動」を含む）
- ・生活アンケート等の実施と分析、活用
- ・体験活動と関連させた「考え、議論する」道徳の授業の実施
- ・人権教育、同和教育の実施（「生きるIV」等の有効活用）
- ・キャリアパスポートを活かした発達段階に応じたキャリア教育の推進

- ・体力テストを年間2回実施
- ・体力テストの目標設定と結果分析
- ・アウトメディアを含めた生活習慣の振り返り
- ・学校保健委員会、校外講師の活用
- ・食育出前講座を活用した食育授業
- ・地域の食生活改善推進委員の協力を得た郷土料理作り（各学年）

連携・協働による教育の推進・・・情報発信 学習内容の発信(発表会・たより・HP等)

【家庭・地域との連携】

○学校関係者評価委員会 ○学校保健委員会 ○PTA、同窓会 自治連合会、育成協 ○校外講師の活用等

【川東小・竹俣特支学校との連携】

●小中連携アウトメディア強調週間の実施 ●学力向上の取組●授業交流●体験入学●行事の見学会 ●引継・情報交換会等

生徒の実態

- 素直で、何事にも真面目に精一杯取り組む姿
- 優しく、他者をいたわる言動をとる姿
- 思いを表現したり、力を発揮したりすることに苦手意識がある。
- 基礎学力や主体的に学習に取り組む姿勢に二極化が見られる。

家庭・地域の願い

- ◇ 夢や希望を持ち、進路実現に向けて学習に取り組んでほしい。
- ◇ 自分の思いや考えを、しっかりと伝えられる人になってほしい。
- ◇ 誰とでも仲良く、楽しい学校生活を送ってほしい。
- ◇ アウトメディア等、家庭や地域と連携して、社会性を育ててほしい。